

UCCX 8.0 ログイン エラー : 「The number of configured extensions for agent devices exceed maximum allowed」

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[複数の回線は統一された CCX 8.0 のためにサポートしません](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

エージェントが Cisco Agent Desktop にログインを試みるとき、ログオンは失敗し、このエラーメッセージは表示する:

```
The number of configured
extensions for agent devices exceed maximum allowed
```

このドキュメントでは、エラーメッセージを解決する方法と推奨処置について説明します。

また、これらの文書を参照して下さい:

- [UCCX : エージェント デスクトップにログインできない](#)
- [UCCX 7.x/8.x : Cisco IP Phone Agent にログインできない](#)

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified Communications Manager 7.x

- Cisco Unified Contact Center Express (CCX 統一される) 8.x
- Cisco 6900/8900/9900 シリーズ IP Phone

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

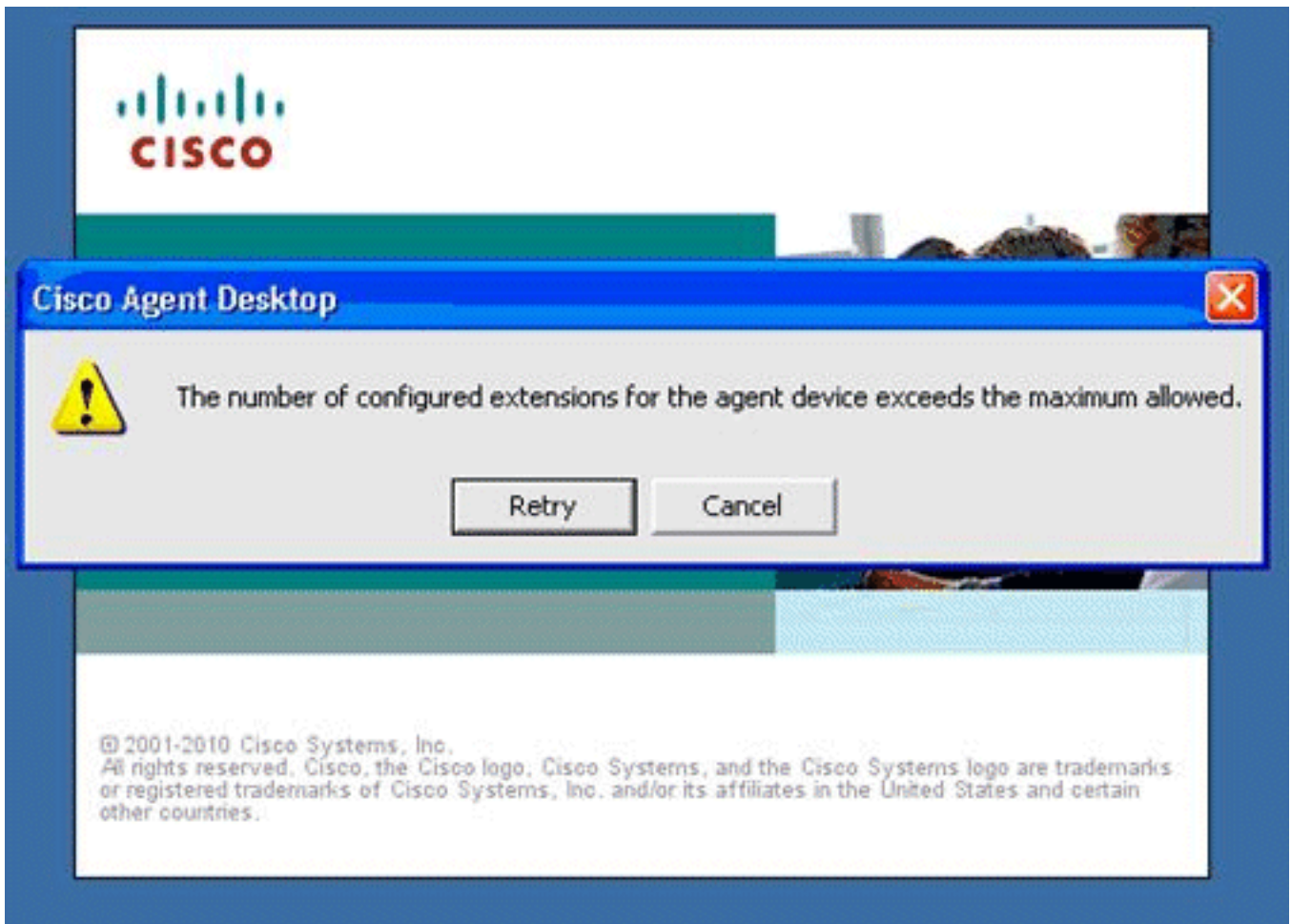
[複数の回線は統一された CCX 8.0 のためにサポートします](#)

Cisco Unified CCX はエージェント デバイスとして 6900/8900/9900 シリーズ電話の使用をサポートします。複数の回線の Cisco Unified CCX モニター コール行 (JAL) を渡る加入をサポートし、それらのエージェント デバイスの行 (DTAL) を渡る転送を指示するため。4 つまでの行は Cisco Unified CCX によって監察されます。これらは 1 つの ACD 行および 3 つの非 ACD 行が含まれています、ACD 行だけエージェントデスクトップから制御されます。4 つ以上の行がエージェント デバイスで設定される場合、エージェントはその電話を使用してログインできません。JAL および DTAL はまた 7900 シリーズ電話を使用してエージェント デバイスでサポートされ、4 ラインまでそれらの電話で設定することができます。

[問題](#)

ログインを試みるとき、Cisco Agent Desktop が IPPA はこのエラーメッセージと失敗します:

```
The Number of Configured extensions for the agent device exceeds  
the maximum allowed.
```



注: エージェント ログオンの際に共有回線設定をチェックして下さい。拡張が共用ラインで設定される場合ログインにエージェントを許可しないで下さい。

解決策

これらのコンフィギュレーションはエージェント電話のためにサポートされません:

- 多数のデバイスに割り当てられる統一された CCX 拡張。
- 同じ拡張があるエージェントの電話の 2 つの行は異なるパーティションに、ありますが。
- 同じの設定は複数のデバイス プロファイルの CCX 拡張を統一しました、または同じの設定はデバイス プロファイルおよびデバイスを任意に組み合わせて CCX 拡張を統一しました。
(単一のデバイス プロファイルの統一された CCX 拡張の設定はサポートされます。)

統一された CCX ドキュメントによって、共用ラインはサポートされません。これは拡張が同じパーティションの複数のターミナルデバイスにあることができないことを意味します。統一された CCX バージョンでは先により 8.0(1) は、そこにチェック共用ラインが使用されるようにするためにではないです。その結果、エージェントはログインに共用ラインが使用されるかどうかに関係なく許可されます。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. 統一された CCX エージェントに電話で設定される 4 つの拡張だけあることを確かめて下さい。
2. これらのステップの実行によって CTI マネージャを再起動して下さい: Cisco Unified Communications Manager アプリケーションのナビゲーション領域から、**統一されたサービスリテリ**を『Cisco』を選択し、『Go』をクリックして下さい。Tools > Control Center

の順に選択して下さい-サービスを特色にして下さい。アクティブにしたいと思う、『Cisco』を選択し『SAVE』をクリックして下さい CTI マネージャを。

CM Services		
	Service Name	Activation Status
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CallManager	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Tftp	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Messaging Interface	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Unified Mobile Voice Access Service	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco IP Voice Media Streaming App	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CTIManager	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Extension Mobility	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Extended Functions	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Dialed Number Analyzer	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco DHCP Monitor Service	Activated

CTI Services		
	Service Name	Activation Status
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CallManager Attendant Console Server	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco IP Manager Assistant	Activated
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco WebDialer Web Service	Activated

この問題およびソリューションに関する詳細については Cisco バグ ID [CSCth96226](#) ([登録ユーザのみ](#)) の回避策を参照して下さい。

関連情報

- [UCCX: ファイル」をダウンロードすることが不可能な Cisco Agent Desktop エラー「](#)
- [エージェントが Cisco Agent Desktop にログインできない](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)